

平成30年度事業実績

I 事業の経過

我が国の農業・農村を取りまく情勢は、担い手の減少や高齢化の進行に加え、グローバル化の急速な進展など、大きな課題に直面している。

このような状況を踏まえ、本県の農業においては、「かごしま食と農の県民条例に基づく基本方針」に基づき、担い手となる大規模経営体や後継者の確保・育成、6次産業化による付加価値の向上、かごしまブランドの確立、輸出促進による販路の拡大などを推進し、「世界に挑戦する鹿児島」、「農林水産業で日本一に」の実現に取り組んでいる。

また、本県の林業においては、「県森林・林業振興基本計画」に基づき、間伐や再造林等による多様で健全な森林の整備をはじめ、担い手となる人材の確保・育成、県産材の利用拡大と供給対策の強化、特用林産物の産地づくりなどの施策を展開し、森林の公益的機能の発揮と森林資源の循環利用による林業の成長産業化を推進している。

このような中、当協会は、平成30年度において次の4つの事業に取り組んだ。

農業後継者確保・育成対策については、関係機関・団体と連携した「かごしま就農・就業相談会」の開催や東京・大阪での「新・農業人フェア」への参加等により、U・Iターン者等に対する就農・就業相談活動を展開するとともに、農業後継者育成基金を活用した新規就農者や青年農業者グループ等に対する活動費の助成を行い、農業後継者の確保・育成に取り組んだ。

担い手農家の経営改善・向上については、JA野菜担当営農指導員研修の開催や基盤整備予定地区の活性化計画の策定、農産物直売所等のマネジメント活動や「直売所ネットワークかごしま」の推進等に取り組むとともに、農業法人等の労働力不足に対応するため、「県農業労働力支援センター」を設置・運営し、労働力確保に向けた総合的な支援を行った。また、「かごしま6次産業化サポートセンター」を運営し、総合化事業計画の作成支援や認定者へのフォローアップ活動等を通じて、6次産業化への取組を支援した。

農林業技術の改善向上・定着については、県下7地区の農林技術協会の活動への支援や農林技術研修事業による農林業技術の改善向上を図るとともに、「かごしまの農林水産物認証制度」で認証された品目を対象に交流会を開催し、消費者の食の安心・安全や農林業への理解促進を図った。

県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等については、「かごしまの農林水産物認証制度」（K-GAP）の審査・認証機関として322件、8,959人を認証するとともに「鹿児島県ふるさと認証食品」（3Eマーク）の審査・認証機関として、9品目を対象に214製品を認証した。

<協会の定款に定める事業>

- 1 農業後継者確保・育成対策に関する事業
- 2 担い手農家の経営改善・向上に関する事業
- 3 農林業技術の改善向上・定着に関する事業
- 4 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業

平成30年度の主な行事・業務実績一覧表

主要行事・業務		時期	内 容
協会運営関係	会計監査	5/7	平成29年度事業実績・収支決算
	第1回通常理事会	5/10	平成29年度事業実績・収支決算，役員の報酬及び費用に関する規程改正等の承認
	定時総会	5/30	平成29年度事業実績・収支決算，役員の報酬及び費用に関する規程改正等の承認
	第1回臨時理事会（書面）	6/19	役員の辞任に伴う新たな役員候補の選任
	第1回臨時総会（書面）	6/28	役員の辞任に伴う新たな役員の選任
	県（農政課）による公益法人検査	1/10	指摘事項なし
	第2回通常理事会	2/5	平成31年度事業計画・収支予算等の承認
農業後継者育成部関係	就農・就業相談活動	5 回 7/28 年間	相談件数 206件 新・農業人フェア（東京・大阪） 44件 かごしま就農・就業相談会 78件 その他 84件
	農業後継者育成基金助成事業 審査委員会	7/12	基金助成事業申請者の適否審査 農高・農大就農促進対策事業 1 2校（1,600千円） 農業青年組織等活動活性化事業 1 1組織（1,700千円） 農業後継者特別支援事業 1 5組織（3,000千円）
	農業経営継承事業	年間	移譲・継承希望者への支援，事業理解促進活動
	無料職業紹介事業	年間	農業法人等 21 企業からの求人数 177件 うち紹介 6件，就業成立 2件
	就農支援資金貸付事業	年間	就農支援資金既貸付分に係る管理業務
	農業次世代人材投資事業	年間	就農研修状況確認調査 181件
	農業経営対策部関係	農家経営診断の実施	年 間
構造改革推進対策事業 （市町村農業公社連絡協議会 活動の支援）		6/5	会計等管理事務の研修 参加者 32名
		7/13	新規就農者の研修 参加者 31名
		12/13～14	相互視察等情報交換・提供（沖永良部島） 参加者 24名
		2/27	農業公社等交流会 参加者 25名
J A野菜担当営農指導員等 研修		9/25～28	野菜担当営農指導員の資質向上に係る研修 参加者 9名

主 要 行 事 ・ 業 務		時 期	内 容	
農業経営対策部関係	農業農村活性化計画の策定	11月～1月	農業農村基盤整備事業の実施予定地区の活性化計画の策定 8地区	
	地域農業経営構造確立支援 推進事業 ・農産物直売所等の管理運営 マネジメント活動	年間	農産物直売所及び農産加工施設を対象に専門家を交えた個別マネジメント活動 4直売所, 4加工施設	
	・「直売所ネットワークかごしま」の推進活動	年間	直売所の経営改善, 売上アップ等に向けた会員相互の情報共有及び連携強化 92会員	
	「直売所ネットワークかごしま」研修会の開催	鹿児島市 6/26 薩摩川内市 11/13	直売所会員を対象にした経営改善, 売上アップ等に向けた研修会の開催	
	農産物直売所と連携した農産加工グループ等 研修会の開催	中種子町 10/18 薩摩川内市 11/29	農産加工施設の衛生管理, HACCP手法に準じた農産加工品の製造を実践するための研修会の開催	
	・「ネットワークかごしま直売所めぐり」の開催	10～2月	県本土の5地区32直売所が参加したシールラリーの開催	
	・情報収集・提供活動	年間	事例調査と情報誌等による情報提供	
	農業労働力支援事業 ・鹿児島県農業労働力支援 センターの設置	4/25 8/9, 3/15	同センター連絡会議	
	(活動内容) 労働力の確保に向けた 総合的な支援	年間	農業労働力確保等に関する相談	67件
			農業労働力補完の仕組みづくり等の 検討及び各種情報の収集	49件
			農業労働力支援センターの活動周知 ・PR及び各種情報の発信	27件
	・鹿児島県農業分野技能実習制度 適正推進協議会の 設置	5/31		
(活動内容) 外国人技能実習制度の 体制整備と適正推進	8/27	農業法人と監理団体との意見交換	33名	
	11/ 1	農業分野外国人技能実習制度 研修会	133名	
	2/19～21	技能実習責任者等講習の実施支援	98名	
	年間	外国人技能実習制度に関する情報 収集	18件	
6次産業化推進部関係	6次産業化推進事業	年間	農業者等の相談への対応	182件
			農業者・法人等への訪問活動	95回
			各種研修会等の開催・支援	11回
			総合化事業計画の作成支援 プランナー派遣	251回
			認定事業者のフォローアップ プランナー派遣	92回

主要行事・業務		時期	内 容
農 林 業 技 術 部 関 係	機関誌「緑地」の発行 (年3回・各部数 2,600部)	6月	特集：鹿児島県農林水産物輸出促進ビジョンについて 「かごしま茶」のさらなる輸出拡大に向けて ～「かごしま有機抹茶輸出促進基本構想」を策定しました!～
		9月	特集：「森林資源の循環利用の促進に関するかごしま県民条例」の制定を受けて
		1月	特集：スマート農業の推進について ～「稼げる農業」の実現に向けて～
	農林技術中央研修会	2/8	講演①「平成の桃源郷 おがわ作小屋村 ～小さな村の大きな挑戦～ 小川作小屋村運営協議会 会長 上米良 秀俊 講演②「CRL認証制度について」 鹿児島県素材生産事業連絡協議会 事業部長 神園 公博 その他 試験成果等パネル展示 参加者数：350名
農林業振興担当部課長及び職員研修会	7/26～27	農林業職員を対象にした農林業施策等研修 受講者数：72名	
かごしまの食の安心・安全交流会（消費者への農林業の理解促進）	2/23	南薩地域（指宿市）での交流・体験 対象品目：実えんどう，そらまめ，にんじん 参加者数：38名	
食 の 安 全 推 進 部 関 係	かごしまの農林水産物認証判定委員会	毎月1回	かごしまの農林水産物の認証判定審査 ○認証件数 322件 〔野菜,果樹,水稲,茶,畜産物(鶏卵) 林産物(原木しいたけ,たけのこ) 水産物(エビ養殖,ブリ,マダイ) など 66品目 ○認証生産者数 8,959人
		年2回 9/27	ふるさと認証食品認証審査・判定 4品目 17業者 75商品 (いも焼酎,いもかりんとう,さつまいもチップス,たけのこ水煮)
	ふるさと認証食品認証判定会議	3/25	〔 6品目 24業者 139商品 いも焼酎,梅干し,調味梅干し, 黒豚みそ,たけのこの水煮, きびなご乾製品・調味加工品, かつお腹皮加工品 〕

II 定款に定める事業ごとの実績

1 農業後継者確保・育成対策に関する事業（農業後継者育成部）

新規就農者の確保・育成を図るため、就農アドバイザーを設置し、関係機関・団体と連携した「かごしま就農・就業相談会」の実施や、リクルートジョブズが主催する東京・大阪での「新・農業人フェア」への参加等により、U・Iターン者等の就農・就業相談活動を展開し、相談件数は206件であった。

鹿児島県農業後継者育成基金（県、各市町村、県農協連、県下各農協から出捐金10億円）の運用益を活用して、新規就農者や青年農業者グループ等に対し活動費を助成し、農業後継者の確保・育成対策に努めた。

農業経営継承事業は、経営移譲希望農家3戸をリストアップし、マッチングに向けた支援を行った。

厚生労働大臣から許可を得て実施している無料職業紹介事業等は、21法人等から177人の求人があった。

また、専任の農業次世代資金指導員1名を配置し、農業次世代人材投資資金（準備型）給付中及び給付後の受給者への面談等を通じ、181件の就農状況の確認・報告業務を実施した。



〈新規就農支援ロゴマーク〉

(1) 新規就農者強化支援事業（県：補助事業，全国農業会議所：受託事業）

就農・就業相談活動の実績

相談会名	月	場所	主催者	相談件数
新・農業人フェア	7, 9, 1	東京 3回	リクルートジョブズ	23
	7, 12	大阪 2回		21
かごしま就農・就業相談会	7	鹿児島市	協会	78
県立農大就農相談会	7	県立農大	県	8
U・Iターンフェア	8	鹿児島市		2
その他就職・就農面談会	7, 8, 3			14
本部	随時	協会・県経営技術課，県外事務所等		60
合 計				206

(2) 農業後継者育成基金事業の実績（6,839千円）

① 新規就農者経営発展支援事業（予算額1,000千円）

申請者がなく，助成額なし。

② 農高・農大就農促進対策事業

ア 農高就農促進対策助成（予算額 1,400千円）（単位：千円）

助成団体	事業費	助成額
農業系高校（11校14学科）	2,561	1,400

イ 農大就農促進対策助成（予算額 200千円）

（単位：千円）

事業内容	事業費	助成額
かごしま就農・就業相談会出席，先進農家，農業法人等による講話	200	200

ウ 農大新卒就農者助成（予算額 440千円）

（単位：千円）

応募者数	助成決定数	助成額	就農場所
人	人		出水市(1) 長島町(1) 霧島市(1) 始良市(1) 鹿屋市(2)
12	12	360	東串良町(2) 志布志市(1) 奄美市(1) 瀬戸内町(1) 与論町(1)

③農業青年組織等活動活性化事業

ア 県農業青年組織活動活性化助成（予算額 800千円）

（単位：千円）

応募団体	助成団体	事業費	助成	備考
2	2	588	400	県農協青壮年組織協議会
		404	400	県農業青年クラブ連絡協議会
合	計	978	800	

イ 地域青年農業者等グループ活動活性化助成（予算額 800千円）（単位：千円）

市町村	団体名	事業費	助成額
鹿児島市	ポタジェファム	122	100
南九州市	KEファーマーズ	273	100
薩摩川内市	鹿児島県花壇苗生産者協議会	101	100
霧島市	霧島有機社中	137	100
曾於市	S00 tea trip	124	100
志布志市	志布志市若手女性農業者志会	105	100
鹿屋市	レッドクローバー	102	100
奄美市	大島地区農業青年クラブ連絡協議会	134	100
喜界町	喜界町農業青年クラブ	478	100
合 計	9 団体	1,576	900

④青年農業士育成事業（予算額 390千円）

ア 講座制研修旅費助成

青年農業士を目指す若手農業者への研修受講旅費助成

助成額 19 千円

イ 青年農業士認定者助成

本年度新たに青年農業士の認定を受けた16名への助成

助成額 160 千円

⑤農業後継者特別支援事業（予算額 3,000千円）

（単位：千円）

市町村	団体名	事業費	助成額
指宿市	指宿観葉植物青年部	430	200
南さつま市	県立加世田常潤高校	200	200
枕崎市	枕崎市大塚周年菊研究会	414	200
日置市	農業大学校 農学部野菜科	201	200
	農学部（2課題）	474	400
	農学部果樹科	213	200
	畜産学部肉用牛科	201	200
	畜産学部酪農科	200	200
	畜産学部養豚科	200	200
阿久根市	県立鶴翔高校	300	200
霧島市	霧島市立国分中央高校（2課題）	446	400
大崎町	OACクラブ	301	200
瀬戸内町	瀬戸内町担い手育成総合支援協議会	201	200
合 計	15 団体	3,784	3,000

(3) 新規就農者等相談活動事業（全国農業会議所：受託事業）

農業後継者のいない農業者の有する経営資産（農地、機械・施設、技術、経営ノウハウ、販路等）が、将来独立就農を目指す意欲的な新規就農希望者や農業法人等の従業員、研修生等第三者へ円滑に継承されるよう相談活動を行った。

○経営移譲希望者 3名

年度別事業実績件数

	経営移譲希望者	継承希望者	マッチング成立	合意書締結	経営開始	経営開始累計
平成20年度	11	8	1	0	0	0
平成21年度	11	12	3	1	0	0
平成22年度	15	13	6	0	1	1
平成23年度	16	15	2	1	1	2
平成24年度	18	19	5	1	0	2
平成25年度	15	12	2	0	0	2
平成26年度	14	11	2	1	1	3
平成27年度	13	14	0	0	0	3
平成28年度	9	19	1	0	0	3
平成29年度	4	2	0	1	1	4
平成30年度	3	1	0	0	0	4

(4) 農業次世代人材投資事業（県：受託事業）

専任の農業次世代資金指導員1名を設置し、農業次世代人材投資資金（準備型）給付中及び受給後の受給者への面談やほ場確認等を通じ、就農状況の確認・報告業務にあたりるとともに、農業経営の定着・発展に向けた効果的な支援を実施した。

○対象者の調査件数： 181件

2 担い手農家の経営改善・向上に関する事業（農業経営対策部・6次産業化推進部）

経営体質の強い経営体を目指す認定農業者等の育成を図るため、農業者の経営実態調査や新規就農者、農業公社等の各種研修会の開催等を行うとともに、農産物直売所等の地域の基幹施設を対象にした管理運営の点検・マネジメント活動等を実施した。

また、農業労働力支援センターや6次産業化サポートセンターの運営を通じ、農業法人等の労働力確保や6次産業化の取組を支援した。

(1) 経営実態調査等の実施（県経済連：受託事業）

農家の経営状況を調査・分析し、経営・技術の改善方策を提案して園芸農家等の育成を図った。

○農家の経営診断・指導 2件

(2) 構造改革推進対策事業（県経済連：受託事業）

市町村農業公社と連携した園芸関係の新規就農者等担い手の育成、園芸農家の法人化などに取り組み、園芸産地の振興を図った。

①市町村農業公社連絡協議会活動の支援

ア 会計等管理事務の研修 → 平成30年 6月 5日（鹿児島市：32名）

イ 新規就農者の研修 → 平成30年 7月13日（鹿児島市：31名）

- ウ 相互視察等情報交換・提供 → 平成30年12月13日～14日（沖永良部島：24名）
エ 農業公社等交流会 → 平成31年 2月27日（鹿児島市：25名）

（3）JA野菜担当営農指導員等研修（県経済連：受託事業）

JA野菜担当営農指導員等を対象に，栽培技術や産地育成など現場での指導能力を高めるための研修を実施した。

- 基礎研修：平成30年9月25日～9月28日 9名

（4）農業農村活性化計画の策定（県土改連：受託事業）

農業農村基盤整備事業（中山間地域型及び担い手支援型等）の実施予定地区の農業農村活性化計画を策定した。

- 対象地区：8地区

※益山地区（南さつま市），皆田地区（日置市），益丸地区（大崎町）

西牟田雪山2期地区（東串良町），第二吾平東部地区（鹿屋市），伊美第二地区（和泊町）

山田地区（知名町），知名西部地区（知名町）

（5）地域農業経営構造確立支援推進事業（県：補助事業）

経営構造対策事業の確実な効果の発現と基幹施設を中心とした地域づくりへの支援による地域農業の活性化を支援するため，経営構造コンダクターを2名設置し，経営構造対策事業実施地区の点検評価，農産物直売所等の管理運営マネジメント活動，「直売所ネットワークかごしま」の推進活動，各種情報の収集・提供などを実施した。

①経営構造対策事業実施地区の点検評価

ア 点検評価の実施内容

- 実施地区における成果目標の達成状況点検

- 成果目標の達成状況を現地で精査・指導

イ 目標達成阻害要因分析・改善対策検討

- 実施地区の経営管理検討会の開催（4地区：栗野，南種子，中種子，西之表）

②農産物直売所等の管理運営マネジメント活動

ア マネジメント活動の対象農産物直売所等

- 農産物直売所

きいれの杜（鹿児島市），にいななまる（南さつま市），くすくす館（始良市）

やごろう農土家市（曾於市）

- 農産物直売所と連携した農産加工施設

近藤農園（薩摩川内市），澤田農園（出水市），新栄物産（南種子町），

宇宙ちゃん加工グループ（南種子町）

イ マネジメント活動の主な実施内容

農産物直売所及び農産加工施設の運営に関する専門家を交えた個別指導

- 農産物直売所

課題解決に向けた実践計画の策定，実績検討会の開催

- 農産物直売所と連携した農産加工施設

衛生管理，加工開発，販売に関する巡回指導

③「直売所ネットワークかごしま」の推進活動（平成31年3月末現在 93直売所）

ア「直売所ネットワークかごしま」研修会の開催	2回
イ 直売所と連携した農産加工活動等研修会の開催	2回
ウ「直売所シールラリー」の開催	県本土 5地区32直売所が参加
エ「直売所ネットワークかごしま」ホームページの更新	92直売所
オ「直売所ネットワークかごしま」通信の配布	2回

④各種情報の調査・収集及び提供

- ア 研修会等を活用した情報収集と提供
(全国農林水産物直売サミット ほか)
- イ 「経営管理検討会実績書」の配布
- ウ インターネットを活用して県内外の経営構造対策関連情報等を収集

(6) 農業労働力支援事業（県担い手・地域営農対策協議会：受託事業）

農業法人等の経営発展に必要な農業労働力の確保等を支援する「鹿児島県農業労働力支援センター」を運営し、専任の「農業労働力支援員」による農業分野における求人・求職の情報収集、マッチングや労働力軽減につながるスマート農業の紹介等を行った。

また、平成30年5月31日に設置された「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」と連携し、外国人技能実習制度等の情報収集・提供を行った。

①鹿児島県農業労働力支援センターの活動

ア 農業労働力支援センター連絡会議の開催	2回
イ 農業労働力確保等に関する相談活動	67件
ウ 農業労働力補完の仕組みづくりやスマート農業等の検討及び情報収集	49件
エ 農業労働力支援センターの活動周知など各種情報の発信	27件

②「鹿児島県農業分野技能実習制度適正推進協議会」との連携

ア 農業法人と監理団体との意見交換会	平成30年8月27日：自治会館	33名
イ 農業分野外国人技能実習制度研修会	平成30年11月1日：マリパレスかごしま	133名
ウ 技能実習責任者等講習の実施支援	平成31年2月19日～21日：自治会館	98名
エ 外国人技能実習制度に関する情報収集		18件

(7) 6次産業化推進事業（県：受託事業）

6次産業化等の取組を促進するため、「鹿児島6次産業化サポートセンター」を運営し、農業者等の相談への対応、農家・法人等への訪問活動、及び各種相談会等の開催、並びに6次産業化プランナーの派遣などによる総合化事業計画の作成支援、認定者へのフォローアップなどを行った。



〈6次産業化のマーク〉

①6次産業化に関する相談への対応

ア 農業者等の相談への対応	182件
イ 農家・法人等への訪問活動	95回

②各種相談会等の開催・支援

ア 開催支援回数	11回	参加者数	119名
----------	-----	------	------

- ③プランナーの派遣による支援
 - ア 総合化事業計画の作成支援 134件 251回
 - イ 認定申請のフォローアップ 52件 92回
 - ウ 平成30年度新規認定事業者 3業者（平成31年3月末現在 認定事業者61業者）
- ④県内農業者等への周知
 - ア 「リーフレット」, 「相談の手引き」の改訂配布
 - イ ホームページの改訂・公開
 - ウ 「農業かごしま」誌への事業紹介記事の掲載
- ⑤関係機関への認定者, 意向者の現況に係る情報提供 4回
- ⑥データベースの構築による計画的・効果的な支援体制の整備

3 農林業技術の改善向上・定着に関する事業（農林業技術部）

技術革新と情報化の進展, 国際化に的確に対応した農林業技術の改善向上が求められる中で, 高度な技術を修得し農業者等のニーズに応えるため, 農林技術中央研修会等を開催するとともに, 機関誌「緑地」の発行等を通じて指導者の技術向上を図った。

(1) 地区活動促進対策事業（自主事業）

各地区での農林業技術者の活動を支援し, 地域農林業の振興を図った。

- ①県下7地区農林技術協会に対する活動経費の一部交付
- ②技連活動促進に係る対策会議等の開催
 - ア 地区協会会長, 事務局長, 担当者会：平成30年5月11日（ウェルビューかごしま）

(2) 機関誌等発行事業（自主事業）

農林業指導者を対象に, 新政策や新技術情報等について紹介した機関誌「緑地」を年3回, 各号2,600部発行した。（225号/夏号6月, 226号/秋号9月, 227号/春号1月）

(3) 農林技術研修事業（自主事業）

- ①農林技術中央研修会
 - ア 日時・場所：平成31年2月8日 かごしま県民交流センター
 - イ 参加者：350名
 - ウ 内容：講演1「平成の桃源郷 おがわ作小屋村」～小さな村の大きな挑戦～
小川作小屋村運営協議会 会長 上米良 秀俊
 - 講演2「CRL認証制度について」
鹿児島県素材生産事業連絡協議会 事業部長 神園 公博
 - ※その他 ～新品種・新技術等のパネル展示紹介・Q&Aコーナー
県農業開発総合センター, 県森林技術総合センター

②総合研修会

区 分	時 期	場 所	参集者	内 容
離島総合研修会 (熊毛地区)	平成30年 11月30日	中種子町	40人	熊毛地区安納いも品評会 ・講演会
農林業振興担当 部課長及び職員 研修会	平成30年 7月26～27日	かごしま 県民交流 センター	72人	農林政策課題別講座制研修会 (県農政部, 県環境林務部各 課及びJ A県中央会の講義)

(4) 永年勤続農林業指導者表彰事業（自主事業）

農林業指導者の永年にわたる功労に対し表彰を実施した。

○平成30年度農林業技術員退職者 47名

(5) 消費者等の農林業理解促進に関する事業

農林業の持続的な発展を図るため、地域で生産される農林産物の品質や安全性等について交流会を開催し消費者の理解を深めるとともに、農林技術研修会への消費者等の参加を呼びかけ農林業・農山村に対する理解促進を図った。

①かごしまの食の安心・安全交流会（自主事業 ※一部、県からの受託事業を活用）

「かごしまの農林水産物認証制度」で認証された農林水産物の産地交流・体験、意見交換会等を通じ、県民の食の安心・安全と農業に関する理解促進を図った。

ア 実施日：平成31年2月23日

イ 実施場所：指宿市

ウ 内容：豆類ほ場、選果場見学及びにんじんの収穫体験による生産者との交流、お茶の入れ方教室体験、地元物産館の見学等

エ 参加者：38名

②農林技術研修事業（自主事業 ※再掲）

農林業の指導者を対象とした研修会を開催し、情勢の変化に対応できる幅広い知識と技術や施策等について研修するとともに、一般消費者等にも参加を呼びかけ農林業・農山村に対する理解促進を図った。

ア 農林技術中央研修会

・期日・場所：平成31年2月8日 かがしま県民交流センター

・参加者：350名

・内容：講演1「平成の桃源郷 おがわ作小屋村」～小さな村の大きな挑戦～
小川作小屋村運営協議会 上米良 秀俊 会長

講演2「CRL認証制度について」

鹿児島県素材生産事業連絡協議会 神園 公博 事業部長

※その他 新品種・新技術等のパネル展示紹介・Q&Aコーナー
県農業開発総合センター、県森林技術総合センター

(6) 先端技術情報の収集・整理・蓄積・提供等に関する事業

先端技術情報、地域農林業の振興に関する情報、生産・流通情報等の収集を図り、各種媒体を通して会員並びに消費者等、不特定多数の県民に対して情報提供を積極的に行った。またホームページ「さくらじまネット21」の内容充実を図るため、トップページのリニューアルやスマホ、モバイル等からの対応が可能となるよう、システムの変更を行うとともに、各部が的確な情報更新と積極的な情報発信に取り組んだ。

①機関誌「緑地」年3回発行による情報提供

②ホームページ「さくらじまネット21」の内容充実と的確な更新

○ホームページ訪問数：39,981件（平成31年3月末現在）

○かごしまの農林水産物認証状況や就農相談情報、直売所情報等を掲載

4 県産農林水産物や加工食品等の安心・安全等に関する事業（食の安全推進部）

県では、消費者の食の安心・安全に対する関心が高まっている中で、安心・安全な食の供給に係る認証制度の取組や、消費者に顔の見える農林水産業の推進に努め、本県農林水産物に対する消費者の安心と信頼の確保を図っている。

当協会は、県から「かごしまの農林水産物」と「ふるさと認証食品」の審査・認証機関として指定されており、県の基準に基づき審査・認証業務を行った。

(1) かごしまの農林水産物審査・認証事業(審査・認証機関)

東串良町ピーマンの再認証（15回目）など、野菜214件、果樹45件、米20件、たけのこ1件、原木栽培きのこ9件、菌床栽培きのこ4件、卵5件、茶19件、エビ養殖2件、海面魚類養殖3件の合計322件（新規23件、再認証299件）生産者は8,959人を認証した。



< K-GAPマーク >

○かごしまの農林水産物の認証実績

品 目 名	平成30年度	
	認証件数	認証生産者数
野菜	214	6,968
果樹	45	1,058
米	20	174
たけのこ	1	1
原木栽培きのこ	9	15
菌床栽培きのこ	4	4
卵	5	22
茶	19	556
エビ養殖	2	2
海面魚類養殖	3	159
計	322	8,959

※茶の認証工場数は(205)

(2) ふるさと認証食品の審査・認証事業(審査・認証機関)

県では、県内に古くからある伝統の製造方法による食品や、特徴ある県産原材料の良さを活かした食品、独自の技術により生産された特色のある食品について、製造方法や使用原材料等の基準を定め、これに適合するものを「ふるさと認証食品」として認証し、品質のよい地域の特産品の振興を図っており、当協会は、現在、28品目の対象のうち20品目の審査・認証機関となっている。



< 3Eマーク >

30年度は、前期に「いも焼酎」をはじめ4品目について17業者75製品、後期に「いも焼酎」をはじめ6品目について24業者139製品、合計9品目、41業者、214製品を認証した。

【参考】認証された製品については、3年間、Excellent Quality（優れた品質）、Exact Expressio（正確な表示）、Harmony with Ecology（地域の環境との調和）を証明する「3Eマーク」を付けて販売できる。

○ふるさと認証食品の認証実績（平成30年度）

品目名	前期(9/27)		後期(3/25)		合 計	
	業者数	製品数	業者数	製品数	業者数(証へ)	製品数
いも焼酎	13	61	16	128	29	189
梅干し			2	2	2	2
調味梅干し			1	3	1	3
黒豚みそ			3	4	3	4
いもかりんとう	1	4			1	4
さつまいもチップス	1	2			1	2
たけのこの水煮	2	8			2	8
きびなご乾燥・調味加工品			1	1	1	1
かつお腹皮加工品			1	1	1	1
計	17	75	24	139	41	214

